令和４年　第５回今金町農業委員会総会会議録　　（第２４代～第２３回）

１．日　　時	令和４年５月３１日　　午後１時３０分 午後２時２１分
２．場　　所	今金町役場２階会議室
３．出席委員	１．樋　口　洋　一　２．中　谷　香　織　３．村　上　隆　文 ４．宮　本　博　光　５．伊　藤　正　行　６．竹　内　章　郎 ７．伊　藤　幸　作　８．讃　岐　幹　夫　９．蛯　名　かず江 10．仁　木　　明　11．中　野　公　郎　12．天　沼　彰　範 13．夕　下　富　男　14．村　本　智　之　15．末　藤　春　義
４．欠席委員	
５．事 務 局	局長　　諸　戸　康　浩 主事　　平　尾　　健

・会議日程

会議録署名委員の指名について

議案第１号　農地法第１８条第６項の規定による合意解約通知の成立状況について

議案第２号　今金町農業振興地域整備計画の変更について

議案第３号　農地法第４条の規定による許可申請について

議案第４号　農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計画について

議案第５号　土地の現況証明願いについて

議案第６号　農業経営改善計画の認定について

○局　長 （諸戸康浩君）	皆様、お疲れ様でございます。 ただ今から、令和４年第５回今金町農業委員会総会を開催いたします。 開会に先立ちまして、末藤会長よりご挨拶申し上げます。
○議　長 （末藤春義君）	皆様本日は大変春耕期ということでお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 田植えもぴりかファームを除いてほぼ終わったかなとそういう状況でありますけれども早い人は１４、５日から田植えをしておりまして、そういう稲は順調に今年は平均気温も高いということございます。さて、農業関係におきましてはコロナ禍、ウクライナ問題で大変揉めておりますけれども先日、道の再生協ということころで会議を開いた中では北海道においては当初の目標を大幅に上回っている、そういう形で米の作付が皆さん方のご理解の下に進んでいるという状況が報告されておりますし、また２０２１年ということで去年版の実績を基にした農業白書というのが出ておりますけれどもその中では、やめて今の状況では担い手が若干不足している状況でありますけれども国内の生産についてはほぼ潤沢に進んでいるという報告もされております。それからここにはビートの耕作者もおられると思いますけれどもビートの糖価調整安定制度という制度で今補給金が支払われておりますけれどもそれが去年ビートも毎年大豊作ということで去年実際１年間で７１億円の赤字だということで、これは累積で何とかなるだろうといつかはビートも作付が少なくなったり豊作ではなく不作になる年があるということで続けておりますけれども、しかし今までの累積が３３００億円を越えたということで、これについては何とか作付制限等も含めてやっていかないといけないという議論は今進んでいるということでもあります。実際には食料の安定供給ということで食料安保が進んで話が進んでおります。けれども一方ではここに酪農家の方もいらっしゃると思うんですけれどもその中では補給金についても今枠が先日の発表では１０万tがこの１ｋｇあたり１０．８５円というその補給金とそれから調整金を足したものが受けられなくなるということでこういう事態が発生しております。ですから今国の方では盛んに麦と大豆、これを増産しようとしておりますけれども、しかし大豆についても今大豆の需要の関係では供給される業者が何とか国産に切り替えていただければ余りの発生は生じないということが言えるかと思いますが、まだこの点については確約は出来ないという状況であります。ですから国としては措置の方にシフトして増産増産というのは米も含めてですけれども需要に見合った生産というのが基本的に原則はそうなってしまうのかなという状況でございます。来年は定例会も始まりますし、本町においても６月になると今の状況でいくと作物の全体像が見えてくるのかなという状況でいますけれども農業委員会の方といたしましては、とりあえず５月時点では何とか今

	まで通りきているという状況であります。ぜひ今この大きな弊害になっているコロナが何とか収まっていただければということを願わずにはいられない状況でございます。本日の総会におきましても提案される議案についてご審議頂きますようお願い申し上げまして冒頭の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。
○局　長 （諸戸康浩君）	ありがとうございました。 それでは、会長が議長となり、議事の進行をしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
○議　長 （末藤春義君）	本日の出席委員は１５名で、定足数に達しております。
○議　長 （末藤春義君）	◎開会の宣告 ただいまから、令和４年第５回今金町農業委員会総会を開催いたします。
○議　長 （末藤春義君）	◎日程第１　**会議録署名委員の指名について** 日程第１、会議録署名委員の指名についてを議題と致します。 今金町農業委員会会議規則第１３条第２項の規定により、本日の署名委員は４番宮本委員、５番伊藤正行委員を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。
○議　長 （末藤春義君）	それでは、会務報告を行います。事務局長、諸戸君
○局　長 （諸戸康浩君）	会務報告は、別紙のとおりとなっておりますので、ご報告いたします。
○議　長 （末藤春義君）	◎日程第２　議案第１号　**農地法第１８条第６項の規定による合意解約通知の成立状況について** 日程第２、議案第１号を議題といたします。 農地法第１８条第６項の規定による合意解約通知の成立状況について事務局の説明を求めます。 主事、平尾君
○主　事 （平尾　健君）	（議案書の朗読：記載省略） ○○○○氏のところ３件あるんですけれども経営移譲した関係で○○○○氏から息子さんの△△△△氏に経営移譲になりますので、その関係で解約が３件あがっております。
○議　長 （末藤春義君）	説明が終わりました。 この件について、皆さんからご意見、ご質問ございませんか。

	（発言なし。） 無ければ、以上で農地法第１８条第６項の規定による合意解約通知の成立状況についての質疑を終わります。 本案は原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。 （「異議なし」の声あり。） 異議なしの声がありますので、本案は原案のとおり決定いたします。
○議　長 （末藤春義君）	◎日程第３　議案第２号　**今金町農業振興地域整備計画の変更について** 日程第３、議案第２号を議題といたします。 今金町農業振興地域整備計画の変更について事務局の説明を求めます。 主事、平尾君
○主　事 （平尾　健君）	（議案書の朗読：記載省略）
○議　長 （末藤春義君）	説明が終わりました。 この案件に関係する委員の退席を求めます。 （関係する委員の退席） この件について、皆さんからご意見、ご質問ございませんか。 （発言なし。） 無ければ、以上で今金町農業振興地域整備計画の変更についての質疑を終わります。 本案は原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。 （「異議なし」の声あり。） 異議なしの声がありますので、本案は原案のとおり決定いたします。 （退席していた委員の入室）
○議　長 （末藤春義君）	◎日程第４　議案第３号　**農地法第４条の規定による許可申請について** 日程第４、議案第３号を議題といたします。 農地法第４条の規定による許可申請について事務局の説明を求めます。 主事、平尾君
○主　事 （平尾　健君）	（議案書の朗読：記載省略）
○議　長 （末藤春義君）	説明が終わりました。 この案件に関係する委員の退席を求めます。 （関係する委員の退席）

	この件について、皆さんからご意見、ご質問ございませんか。 （発言なし。） 無ければ、以上で農地法第４条の規定による許可申請についての質疑を終わります。 本案は原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。 （「異議なし」の声あり。） 異議なしの声がありますので、本案は原案のとおり決定いたします。 （退席していた委員の入室）
○議　長 （末藤春義君）	◎日程第５　議案第４号　**農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計画について** 日程第５、議案第４号を議題といたします。 農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計画について事務局の説明を求めます。 主事、平尾君
○主　事 （平尾　健君）	（議案書の朗読：記載省略） これらの件に関しまして、資料Ｎｏ１を添付しておりますので、お目通しをお願いいたします。
○議　長 （末藤春義君）	説明が終わりました。 この案件に関係する委員の退席を求めます。 （関係する委員の退席） この件について、皆さんからご意見、ご質問ございませんか。 まずは１番から３番まで。 （発言なし。） 次に、４番から１０番。 （発言なし。） 次に、１１番から１６番まで。 （発言なし。） 全体を通してご意見ご質問ございませんか。 （発言なし。） 無ければ、以上で農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計画についての質疑を終わります。 本案は原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。 （「異議なし」の声あり。） 異議なしの声がありますので、本案は原案のとおり決定いたします。 （退席していた委員の入室）
	◎日程第６　議案第５号　**土地の現況証明願いについて**

○議　長 （末藤春義君）	日程第６、議案第５号を議題といたします。 土地の現況証明願いについて事務局の説明を求めます。 主事、平尾君
○主　事 （平尾　健君）	（議案書の朗読：記載省略） これらの件に関しまして、資料Ｎｏ１を添付しておりますので、お目通しをお願いいたします。
○議　長 （末藤春義君）	説明が終わりました。 この件について、皆さんからご意見、ご質問ございませんか。
○１１番 （中野公郎君）	会長、よろしいですか。
○議　長 （末藤春義君）	はい、中野委員。
○１１番 （中野公郎君）	つい先日、現地を見て参りました。この写真の真ん中あたりのところ現況笹が１ｍ５０ｃｍから僕の背なんて簡単に埋まるような笹が生い茂っている状況でして本当に畑があるのかという状況だったので、公簿は畑なんですけれども雑種地ということでやむを得ないのではないかなという状況で、という報告です。
○議　長 （末藤春義君）	ありがとうございました。 他に皆さんからご意見、ご質問ございませんか。 （発言なし。） 無ければ、以上で土地の現況証明願いについての質疑を終わります。 本案は原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。 （「異議なし」の声あり。） 異議なしの声がありますので、本案は原案のとおり決定いたします。
○議　長 （末藤春義君）	◎日程第７　議案第６号　**農業経営改善計画の認定について** 日程第７、議案第６号を議題といたします。 農業経営改善計画の認定について事務局の説明を求めます。 主事、平尾君
○主　事 （平尾　健君）	（議案書の朗読：記載省略）
○議　長 （末藤春義君）	説明が終わりました。 この件について、皆さんからご意見、ご質問ございませんか。
○１１番 （中野公郎君）	いいですか。

○議　長 （末藤春義君）	はい、中野委員。
○１１番 （中野公郎君）	認定農業者の資格たる条件というものが何かしらありましたけれどもこれは国が認めたものはこういう条件ですよというのが我々の地域差によって地域によっては老人が多くなって認定農業者の資格というのがどこを基準にしてつくったのかというくらい要するに合わなくなってきた、どういうふうに合わすのかというのを聞きたいです。段々と高齢者になってきて今言ったように農業所得が十分に上げられない、労働が厳しくなってきたということで若干やわらかくしたという１つのプランを地域性で見直してくれるならそれはそれで良いんですけれども何もかもそうやってやっていいものなのか、いいのならありがたいことなんですけれども、その辺が」ある程度見直し出来るのであれば我々の方で地域の現状に合った見直しが必要なのではないかなという気がするんですけれども。
○局　長 （諸戸康浩君）	農業委員会の方では答えられないので、その辺はそういう質問があったということで町側にも伝えたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
○議　長 （末藤春義君）	認定農業者の数を増やすというのはそれぞれの自治体の中では使命なんですよね。なのでこういう計画を認定してあげたい。
○１２番 （天沼彰範君）	例えば８５歳の人が計画を出してきた場合、認定されることもあるということですよね。
○議　長 （末藤春義君）	所定の要件を満たせば。１番大きいのは所得ですよね。どちらにしても時間をください。町の方と調整します。
○議　長 （末藤春義君）	他にこの件について、皆さんからご意見、ご質問ございませんか。 （発言なし。） 無ければ､以上で農業経営改善計画の認定についての質疑を終わります。 本案は原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。 （「異議なし」の声あり。） 異議なしの声がありますので、本案は原案のとおり決定いたします。
○議　長 （末藤春義君）	閉会にあたりましてお礼の挨拶を申し上げます。 大変お疲れのところ、また忙しいところを本日はご出席をしていただき議論していただきまして誠にありがとうございました。特に申すことはそんなに無いんですけれどもまず何よりもコロナなどに罹らず、また事故の無いように今年も皆さん方もうスタートしておりますけれどもお気をつけて仕事をしていただきたいということであります。それからお米については今国会で議論されているのは２３年度までに今の現況のお米の生産について４割削減ということをうたっております。一向に生産費が下がらないと。特にこの間農林省に言われたのは北海道は府県から見ると逆に増えているということで言われました。これは一重に昔はトラクターであれ

	ば１ｈａ１馬力という話をしておりましたけれども今は水田農家でも２００馬力とかそういうトラクターが入って作業している、ましてロボット化によって１人の操作で２台のトラクターを使って３台のトラクターをほ場に入れながら作業しているのが見受けられるという話もしておりました。私が言ったのはスマート農業と一生懸命うっていますが基本はドローンを含めて大変いいことなんですけれどもそれらが全てコストを押し上げる要因になっているということで出来れば購入、維持管理そういうのも含めて補助の対象にしてもらうのなら一向に担い手不足とか労働力の不足に対応するためのそういうスマートの機械については今後ますますそういう形でコストは一向に下がりませんよという話をさせていただいたこともありました。しかし何と言っても輸出をする段階においては安いお米でなければ海外の人方は中々食べてくれない、それから消費も増えないというのが実態であります。少し遠い話だと思いますがそれらも含めてこれから皆様方元気に活躍して今金町の生産額少なくても農協においては去年の５０億円を上回るような、そういうのを目標に努力していただきたいということを申し上げまして本日の総会を終わらせていただきます。
○議　長 （末藤春義君）	◎閉会の宣告 以上をもって、本日の議案全部の審議が終わりました。 これをもって、令和４年第5回今金町農業委員会総会を閉会いたします。

閉　会　　午後２時２１分

本総会における会議の顛末を記して相違なきことを証するためにここに署名する。

令和４年５月３１日

今金町農業委員会　会長

署名委員

署名委員